



アジレント・テクノロジー ランチョンセミナー

日時 12月11日（金）12:00～13:00
会場 第3会場
（パシフィコ横浜 会議センター 3階 302）
発表番号 3BT3

アジレントの新ツールが加速する統合ゲノミクス研究の新局面

さらに低コスト、少量サンプルに対応。
アジレント G3 高感度発現アレイと統合データ解析ツール

アジレント・テクノロジー株式会社 ライフサイエンス営業本部
シニアアプリケーションコンサルタント 田谷 敏貴

近年、次世代シーケンサの急速な進展により、ゲノムのリシーケンシングのみならず、シーケンサを用いた“デジタル遺伝子発現”の報告が相次いでいます。デジタル遺伝子発現は、ダイナミックレンジが広いことが特徴のひとつであり、よりコストの安いマイクロアレイと組み合わせることで研究をおこなうには、マイクロアレイのダイナミックレンジが重要なポイントのひとつとなります。

アジレントの発現アレイは、5 log という他に類のない、広いダイナミックレンジをもっています。この定評ある高感度発現アレイについて、1スライドに100万スポット搭載できるG3高密度フォーマットを用いて、さらに低価格に、さらに少ないサンプル量で発現プロファイリングが可能なアレイの開発を進めています。本セミナーでは、アジレントのG3高感度発現アレイを用いた発現プロファイリングの最新情報を紹介すると共に、mRNA - miRNA - CGHのような異なるプロファイリングデータをより簡単に統合して解析するために必要なアプローチについて、アジレントのゲノミクスワークベンチ、GeneSpringGX、ゲノムブラウザなどを用いた、これからのゲノミクス解析について紹介します。

次世代シーケンサのパワーを広く研究者に開放する
アジレント SureSelect ヒト全エクソンキャプチャキット

アジレント・テクノロジー株式会社 ライフサイエンス営業本部
シニアアプリケーションサイエンティスト 箕浦 加穂

その圧倒的なスループット向上で、ゲノミクス研究を全く新しい局面に導く次世代シーケンサ。しかし、多くの研究者にとって、次世代シーケンサ自体が高価であり、かつ、Coding領域のように限られたゲノム領域に興味がある場合、深いカバレッジで読み取ろうとすると時間とコストがかかるうえ、データ量が膨大になってしまう問題点がありました。このため、多検体のSNPのリシーケンシングや新規InDelsの検出などの研究プランに次世代シーケンサを生かしたくても、実際に着手するには困難なものがありました。

アジレントのSureSelectはこの問題を解決します。ゲノム上の任意の領域を1 - 6.9 Mbの範囲で自由にキャプチャできるカスタムベイトライブラリに加え、34 Mbのヒト全エクソンを1本のチューブで一度にキャプチャできる待望のカタログ製品が登場しました。本製品の登場により、受託サービスを利用した次世代シーケンサの活用が現実的になりました。SureSelectをどう活用するかが、今後のゲノミクス研究計画を考える上で重要なポイントになりつつあります。本セミナーでは、対象となるシーケンシング手法が増えた新製品のラインアップと最新データを紹介します。